

今後の検討課題に関する委員の御意見

※検討会第1回における各委員の発言内容を整理したもの

消防職員の権利の尊重について

- ILOから消防職員に団結権を付与するべきと指摘されていることを踏まえるべきではないか。
- 労使がよきパートナーとして話し合いを進めることが、目的意識の共有につながるのではないか。
- 団結権を付与することが消防職員の安全を守ることにつながるのではないか。
- 消防職員の中でも、団結権のあり方はあまり課題として認識されていないのではないか。
- 労働者が団結権を有し、交渉するのは、近代労働法制の基本的なインフラであり、いわば万人に付された基本的な人権である。その上で公共の要請から制約される部分もあり、その部分を理詰めで議論すべき。

国民の安心・安全の確保について

- 消防の実態としては、基本的には、隊長以下の部隊で活動しており、部隊内の信頼関係が崩れると大変なことになる。団結権が与えられることで部隊活動に与える影響をしっかりと検証すべきではないか。
- 団結権を付与する場合、現場にどういう影響を与えるのか整理する必要があるのではないか。
- 消防職員や住民にとって弊害が起こることのないようにするべきではないか。

その他

- 消防職員委員会の活動の実態・成果・課題などについて検証すべき。
- 外国の消防組織や団結権の状況等についても調査する必要があるのではないか。